

岐阜県下呂市

ベンチ

【概要・アピールポイント】

多くの方に、目で見えてふれてもらうために、市内の公共施設の共有スペースにベンチを設置しました。そのことにより、大会の記憶を形に残し、未来へと繋げるものです。ベンチの止め金具のデザインを、下呂の木のもみじと第24回清流めぐり利き鮎会で日本一となった馬瀬の鮎としました。

■ 資材提供のきっかけ

岐阜県や県内他5市町村とともに、オリンピック・パラリンピックを通じて岐阜県産材の販路拡大につなげるため資材提供することとなった。

■ 提供した木材の概要

ヒノキ材（床、欄間、大引、土台、柱、梁）16.6 m³

■ 用途

ベンチ 10基 市内公共施設 8箇所に設置

■ 用途決定までのプロセス

H30年度 下呂市馬瀬中切地内の市有林で、ヒノキを伐採、製材。
R3年度 返却の通知があり、活用方法等の検討、協議を開始。
R5年度 下呂の木の家へ返却材の活用方法について相談、協議し、ベンチを製作する事とした。



■ 完成/使用開始時期

令和6年3月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

市内公共施設 8箇所

下呂市役所下呂庁舎、振興事務所4箇所

下呂交流会館 アクティブ、下呂市観光交流センター 湯めぐり館

下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設ニコリエ

■ 完成まで・完成後のエピソード

○平成30年に市内小学生も関わり下呂市馬瀬中切地内の市有林で、ヒノキを伐採、市内製材所で建築材として加工しました。
○返却材が構造材であることや座彫り等があった事、寸法が不揃いであった為、活用方法について苦慮しました。そこで、市内木材関係業者の集まりである「下呂の木の家」に活用方法を相談し制作に至りました。

問合せ先

農林部 林務課

電話：0576-53-2010 内線130